

修了式 校長式辞（3月24日）

いつもはこうやって全校のみなさんが集まるのは朝礼ですが、今日は「修了式」です。女の子は襟カバーをはずして式としての服装で臨んで来ています。男の子も、服装こそいつもと違いはありませんがしっかりとした気持ちで臨んで来ています。

さて、この「修了式」ですが、3年間の始まりが入学式で終わりが卒業式であるように、1年間の始まりの始業式に対し、1年間の締めくくりが修了式です。学期ごとにあるのは「終業式」で、言葉も違います。終業式の「終」は「終わる」という漢字を書き、文字通り、この日で1学期が終わりますよ、2学期が終わりますよ、という意味です。しかし、「修了式」の「修」は「修める」の「修」という字を書きます。分かりやすく言うと、修学旅行の「修」です。これは終わるという意味ではなく、学習やさまざまなことを学ぶ、身につける、という意味です。先ほど、代表の子に渡した「修了証」、この後、担任に先生からみなさん一人一人に手渡される「修了証」には、「1年生で学ぶべきことをしっかり身につけました」「2年生でやるべきことをしっかりできました」ということを担任の先生や校長先生など多くの先生たちが認めたという証明です。単に1年間が終わったというものではありません。確かに、こうやってしっかりとした態度で式に臨んでいる姿、朝の読書タイムでは始まる時刻より前から静かに本を読み始めている様子、授業中に友達と話し合ったり先生の質問に答えたりしている態度、部活動でがんばっている姿勢など、十分にそれぞれの学年の内容を修了したと思います。4月にはそれぞれ学年が一つずつ上がり、座る場所も一つずつ後ろになり、一番前には1年生が入ってきます。みなさんは上級生となるわけです。きっと立派な上級生となってくれることと思います。

ここまでは学年全体の話をしてきましたが、一人一人はどうでしょうか。忘れ物が多かったなあ、テスト前にあまり勉強ができなかったわ。部活の朝練習にいつもぎりぎりで滑り込みセーフってことが何度もあったな、知らず知らずのうちに友達を傷つけちゃったかも、「死ね」「うざい」って言っちゃった、など、振り返ってみてどうだったでしょうか。そんなことがあった人は、ぜひ、この春休みに反省をし、「4月からは！」という新しい目標にしてください。春休みはそのためにあります。春休みという時間を大切に使い有意義に過ごし、また4月にひと回り大きくなったみなさんに会えたらと思います。

最後になりましたが、いつもこういう長い休みの前に言うことですが、自分自身の命を大切に、そして、自分の周りの人の命も大切にしてください。